

# 小学校第6学年 音楽科 学習指導案

期 日 平成28年10月7日(金) 第3校時  
 場 所 菊陽町立菊陽中部小学校 音楽室  
 指導者 教諭 合志 るみ子

- 1 題材名 音楽でメッセージを伝えよう～そうじの終わりを伝える音楽をつくろう～  
 教材「山の魔王の宮殿にて」(グリーグ作曲) 「ソー ジ オワレ」(教師自作曲)  
 [共通事項] 速度, 強弱, 音の重なり

## 2 題材について

### (1) 題材観

本題材は、音楽の要素の変化に着目して鑑賞や音楽づくりをすることにより、音楽のもたらす効果を実感することを目的としている。また、知覚・感受した音楽のよさや美しさを自らの表現へ生かすことにより、音楽科学習の二つの領域(表現・鑑賞)を相互に往還できる学習活動を展開できるものである。生活の中に音や音楽は欠かせないものであり、学校生活においてもそれらが合図となって子どもたちが行動する場面が多々ある。しかし音楽の授業ではなかなか学校生活とリンクできず、児童にとっての生活と音楽とのかかわりが薄いと思われる。

更に、本題材を6年生で実践することで児童会活動や生活指導の面からもアプローチできると考える。

以上のことから、本題材において音楽づくりの学習活動を行うことは、自ら課題を発見し追究していくという資質・能力の獲得にもつながり、本校の学校教育目標の「よく考え意欲的に学ぶ子ども」の実現につながるものであると捉える。

### (2) 系統観

第6学年(5月)	第6学年(6月～7月)	第6学年(10月)本時
せん律を組み合わせて 声のひびき合いを楽しもう 「ロック マイ ソウル」 A表現(1)歌唱 エ	せん律の動きや重なりを きき合って演奏しよう 「カノン」 A表現(2)器楽 エ B鑑賞 イ	そうじの終わりを伝える 音楽をつくろう 「ソー ジ オワレ」 A表現(3)音楽づくり イ B鑑賞 ア ウ

### (3) 児童観 <本学級6年1組 40名(男子18名 女子22名)>

- 委員会活動や学年における活動において、積極的に働いたり最高学年として学校を引っ張ったりする意欲と行動力が高い児童が多い。
- 音楽科の学習においては、曲を鑑賞した際に聴き取ったり感じ取ったりしたことについて、「音楽のどこからそのように感じたのか」と根拠を示して自分の意見を述べるができる児童は8割程度である。「なぜそう思ったのか」を音楽の要素や仕組みと関連して記述できる児童は6割程度である。
- 「これからの社会に求められる資質・能力(追究する力)」について、6割強の児童は音楽の授業を通して高まっている(まあまあそう思う・そう思う)と答えているが、「音楽の授業を通して知ったこと、できるようになったことを、他の授業やふだんの生活の中でできないか考えている」について(まあまあそう思う)は4割程度で、「そう思う」と答えた児童はいなかった。

### (4) 指導観

**学びを引き出す**  
 学習活動を生む  
 「問い」の工夫  
 (言語活動の充実)

- ① 学校生活において改善したい問題を共有し音楽によってメッセージを伝えるという学習課題を設定し、課題に迫る「問い」を工夫し、対話を通して「よく考え意欲的に学ぶ力」、「愛校心」の育成を目指す。<課題設定の工夫, 「問い」の工夫>
- ② メッセージの趣旨を確実に伝えるために、音楽のよさや音楽を形づくっている要素の効果を鑑賞教材曲で知覚・感受し、課題を追究する学習につなげる。  
 <題材構成の工夫>

**学びを振り返る**  
 思考過程の可視化  
 と学びの振り返り

- ③ 自分と他者との考えの違いや、意見の交流から自らの考えが変容したことが分かるような学習シートの活用と板書及び音の再現提示を行う。他者の意見を柔軟に取り入れ、協働的に追究することが継続できるようにする。
- ④ 振り返りの場面において、学習内容を振り返るだけでなく資質・能力についての自己評価も行うことで「追究する力」を意識できるようにする。

**学びを支える**  
 学びのUD化とICTの  
 活用及び支持的風土

- ⑤ 児童が学習内容だけでなく学習活動の方法まで把握でき、スムーズに班活動が行える雰囲気づくりに努めたり、ICT活用により共有化を図ったりすることで、日常的に「追究する力」の育成に努める。

3 題材の目標と評価規準（参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」）

題材の目標	○音楽を特徴付けている要素及び音楽の仕組みを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取り，表現したり，鑑賞したりする。 ○メッセージが伝わるように音楽を形づくっている要素を変化させるなどして音楽をつくる（アレンジする）。		
音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
①創造的に音楽にかかわり，音や音楽に対する関心を持ち，音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。	①音楽を形づくっている要素を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，音楽表現を工夫し，どのように表すかについて思いや意図をもっている。	①音楽表現をするための基礎的な技能を高め，歌ったり楽器を演奏したり音楽をつくったりしている。	①音楽を形づくっている要素を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，楽曲の特徴や演奏のよさを理解し，味わって聴いている。

4 指導・評価の計画（6時間取扱い ※内1時間は学活取扱い 本時4／6）

題材を貫く問い：「時間いっぱい掃除をがんばろう」という中部小の目標を達成するために6年1組から提案しよう

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	1 学活  1 音楽	1 生活委員会や企画運営委員会で取り組んでいる菊陽中部小学校の問題について考える。 2 音楽で提案できることを考える。 ○モチーフとなる旋律を知る。	【関心・意欲・態度】ワークシート 【学びを引き出す】 ①身近な問題を学習課題として設定することで，目的意識・相手意識を明確に持つことができるようにする。 【音楽表現の技能】鍵盤楽器を用いての演奏
二	1	3 「山の魔王の宮殿にて」を鑑賞する。 ○音楽を形づくっている要素が変化することを聴き取り，感じ取ったことを伝え合う。	【音楽表現の創意工夫】ワークシート 【鑑賞の能力】学習シート・意見交流 【学びを引き出す】【学びを支える】 ②特徴的な音楽の要素に着目させることで楽曲のもつ面白さに気付くことができるようにする。 ⑤番号パネルを用いて提示し，楽曲が可視化できるようにする。
三	3 (本時1時)	4 「そうじの終わりを伝える音楽」をつくる。 (1) メッセージを伝えるための方法を考える。 (2) 3つのパターンの演奏を聴き比べ，さらに伝わりやすくなるよう音楽を形づくっている要素を変化させたり付け加えたりする。 5 録音し，クラスの提案として発表する。	【音楽表現の創意工夫】学習シート・演奏 【学びを振り返る】 ③モチーフの主旋律や伴奏を繰り返す中で，強弱や速さ等を変化させることで前時の演奏と比較し，変容に気付くことができるようにする。 ④なぜその要素を変化させたのかを前時に学習したことと関連させて，考えを全体で共有できるような板書を行う。 【音楽への関心・意欲・態度】発表・演奏 【鑑賞の能力】学習シート 【学びを引き出す】 ①音楽を形づくっている要素の効果や働きを使って伝えられているかについて考えさせ，課題について振り返ることができるようにする。

5 本時の学習

(1) 目標

「あと2分でそうじの時間が終わります」というメッセージが伝わるように、「ソージョワレ」の旋律をつくること（アレンジすること）ができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 7分	1 本時のめあてを確認し、「ソージョワレ」の旋律を練習する。	○前時の鑑賞曲から聴き取ったり感じ取ったりした、音楽を形づくっている要素のよさや働きを確認する。 <b>【学びを引き出す】前時の鑑賞で着目した音楽の要素からどのようなことを感じ取ったか発言させる。</b> <b>【徹底指導】</b> （前時に話題になった要素に着目させ、パネルやカード等で楽曲を可視化する。）	主旋律の 拡大楽譜  共通事項 のカード  PC（プレゼン用） TV（モニターとして）
展開 30分	「あと2分でそうじの時間が終わります」のメッセージを音楽で伝えよう。		
	2 [本時の問い]について考える。 <b>あと2分しかないことを音楽で伝えるためにはどのようにすればよいのだろう。</b>		
整理 8分	(1) 個人で考える。 (2) 班で伝え合う。 (3) 全体で意見を交流する。 <b>【言語活動】</b> （設定の意図） 音楽の要素をどのように変化させればよいのか、既習事項や生活経験からの理由を伴って説明し合うことで、「あと2分」を伝える（主張）音楽にすることができる。	○これまでに着目した、強弱・速さ・音の重なり・音色を活用できないか考えさせる。 <b>【能動型学習】</b> （モチーフとなる主旋律を2分間繰り返すだけで「あと2分」が伝わるのか、補助的な問いとして投げかける。） <b>【評価：思考・判断・表現（学習シート・観察・発表）】</b> <b>【B基準】</b> 「急がせるために速くする」「時間がせまっているから強くする」というように、理由を伴って主旋律の演奏に変化をつけることを提案し発表している。 <b>【A基準】</b> B基準に加え、複数の音楽の要素を相乗効果的に働かせて主旋律や伴奏を変化させることを提案している。 〈B基準に達していない児童への手立て〉 ○友だちの意見から実際に変化した演奏を聴かせて感じたことを発言させたりする。	学習シート 実物投影機
	3 実際に演奏し、変化させた音楽の要素の効果や働きについて考える。	○状況によっては、教師が演奏し、速度や強弱など変化させた音楽の要素を児童が比較聴取できるようにする。	メロノム 鍵盤ハーモニカ
	4 学習したことをまとめ、本時を振り返る。 (1) [本時の問い]に対する分かったことや気付いたことを伝え合う。  (2) 次時の活動を知る。	<b>【学びを振り返る】変化させた音楽の要素の効果や働きを生かして、メッセージを伝えることができたか考えさせる。また、自分の考えだけでなく友だちの意見から「なるほど、そうか」と感じたことを発表させる。</b> <b>【徹底指導】</b> （変化させた要素とその効果を記述させる。）  ○本時で出されたアイデアを取り入れた音楽を録音することを伝え、次時への意欲を高める。	リコーダー その他 児童が必要とした楽器

